

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題



▶ 初荷のトラックを見送りました
▲ 選果の様子



山口大島みかんの出荷はじまる

平成29年産山口大島みかんの初荷出発式が9月25日、久賀のJA山口大島柑橘選果場で行われ、関係者や久賀保育園の園児ら約100人が出席し、テープカットとくす玉開きで初荷を祝いました。今年梅雨明け以降、適度の降雨と日照に恵まれ、果実は順調に育ち、糖度・酸度のバランスのとれた美味しいみかんに仕上がっており、式典でJA山口大島の吉村基代表理事組合長は「生産者の皆さんが一つ一つ丁寧に丹精こめて作っていただいた結果、上々の出来になった」とあいさつされました。今年産は正果で4350トンの出荷を予定しており、55%が県内・地場向け、45%が京浜・阪神などの市場へ出荷されます。

新技にも挑戦！ 一輪車講習会

国際一輪車競技大会で優勝経験のある方を講師に招いての一輪車講習会が、9月6日、油田小学校で開かれました。

これは、日本教育公務員弘済会の事業で行われたもので、講師はペア競技部門などで優勝の鈴木奈菜さんと、個人競技女子エキスパート部門などで優勝の須郷真弥さんのお二人。華麗なスピンや高度なテクニクを駆使したペアでの模範演技が披露された後、早速、実技指導が行われ、「一番大事なのは姿勢よく乗ること」であることや「つま先でペダルを踏んで」などのコツが伝えられました。

油田小では体育や運動会に一輪車を取り入れていることもあり10人全員が乗ることができそうですが、子どもたちは新たな技を習得しようと真剣そのもの。バランスのとり方や体の使い方、いろいろな乗り方など何度も挑戦し、約2時間の講習でみるみる上達していきました。



「何回も繰り返しやれば必ず出来るようになる。あきらめないでやり続けて」と鈴木さん（写真上）と須郷さん（写真下）